

今は未来のためにある

一人一人が主人公 ～規律を守り、全力で挑戦し、高め合える仲間たち～

No.18 令和7年8月29日 発行者;校長 小倉 大二

【学校教育目標】

校訓「誠実・勤勉・礼儀」に則り、
思いやりの心を持ち、
新たな価値創造に挑戦する中で、
母校への誇りをはぐくむ生徒の育成

タブレット端末が新しくなります

本市では、令和3年度末に生徒一人に一台のタブレット端末が配布されてから約5年間が経ちます。そこで、9月1日から本市の全生徒・児童分のタブレット端末が新調されることになりました。

今回、本市が取り入れた機種は、今までの「Lenovo社製のWindows P C」ではなく「Hewlett Packard社製のChromebook」になります。パソコン等の進歩は、日進月歩で以前よりもかなり使い勝手がよくなっています。例えば、スイッチを入れての画面が立ち上がるまでの時間ははやくなったり、タッチパネル用のペンが付属されるとともにペン機能の精度が上がったりしています。

本校では、全市の中でもタブレット端末の活用が進んでおり、授業での活用はもちろん、次の日の授業準備等の連絡もタブレット端末で行っています。ある報道番組で言っていたのですが、早くからタブレット端末を活用している学生とそうでない学生とでは、将来的なICT活用のスキルアップやプログラミング能力に差があるという統計も出ているようです。Society 5.0の時代を生きる生徒たちの未来のためにも、今後も、学校と家庭とでの活用を充実させていこうと思います。

つきましては、以下の点についてのご理解、ご協力をお願いいたします。

- タブレット端末はあくまでも「貸し出し」の取り扱いです。卒業後は、次に入学してくる新1年生に渡されます。今回のように約5年間で新機種になる予定ですが、次に使う人がいることを前提として大切に扱ってください。
- タブレット端末・タッチペン・充電用コンセントの破損については、故意、もしくは重大な過失による破損でない限りは学校の予算で修理を行います。しかし、紛失した場合は弁償となります。弁償に関しては学校を通しての購入になります（タッチペン、充電用コンセントも含む）。
- タブレット端末は教育活動のために整備しています。お子様以外の方が使用することや、学校が指定する以外の目的で使用することはできません。
- ご家庭でのインターネット通信や充電にかかる費用は、ご家庭での負担になります。



“届けよう、服のチカラ”プロジェクト始動

2学期から「子ども服」の回収を始めました。これは、「届けよう、服のチカラ」プロジェクトとして、戦争等で難民となった世界の子もたちに服を届けようという本校生徒主体の取組です。もし、ご家庭で不要になった「子ども服」があれば、学校までご寄贈ください。

【提出方法】 職員室前、もしくは、1・2年生の下足室前に回収ボックスを用意しています。

次の3つの分類での提出をお願いします。【9月1日～10月24日】

- ① 赤ちゃん用（サイズ 60cm～100cm）
- ② キッズ長袖・長ズボン（サイズ110cm～160cm）
- ③ キッズ半袖・半ズボン（サイズ110cm～160cm）

11月初旬に服を届けます。
この日以降は回収できません。

【注意事項】

- 現地で不足しているのは子ども服ですので、子ども服のみの寄贈をお願いします。
（60センチから160センチまでの服です。大人の服は業者に回収されません。）
- 難民の方々が辛かった経験を思い出さしてしまう可能性があるため、戦争を思わせる模様（迷彩、武器、ドクロ等）はさけてください。
- 洗濯した状態で寄贈をお願いします。
- 衛生面の観点から直接肌に触れる下着、靴下、帽子、靴は回収していません。

入試情報コーナー

北九州市立高校の特色化選抜

北九州市立高等学校の「特色化選抜」の入試に際し、「加点（評定に規定の数値を足す）方式」を本年度も導入することが確定しました。

昨年度の令和7年度入学者入試では「部活動」「生徒会活動」等での活躍も加点の対象に入っていました。今年度の令和8年度入学者入試には入りません。願書提出時に以下の3種類の検定・資格保有者に加点がなされます。

- 「① 英語系の検定（実用英語技能検定・CEFR）」
- 「② 数学系の検定（実用数学技能検定）」
- 「③ 情報系の国家資格（ITパスポート・基本情報技術者試験）」

なお、それぞれの検定・資格受検を希望される方は、各自で申し込まれてください。詳細はインターネット等でお調べください。

詳しくは市立高校のホームページに掲載されているので、そちらをご覧ください。

（※ この情報は、3年生保護者には8月2日にtetoruにて配信した情報と同じです。）